

社内外の共創を活発化して 自社の成長と社会の発展に貢献していきます。

UACJの研究開発を一手に担ってきたのが、名古屋製造所に隣接するR&Dセンターです。主力製品である缶材と自動車材を中心とした製品開発のほか、日本のトップメーカーとしてアルミニウム素材やその生産プロセスに関する最先端の研究も進めています。

R&Dセンターの特徴は、お客様と直接対話していること、製造所と連動していること、そして100年を超す事業展開のなかでの経験値に基づいた知見があることです。お客様の意見やお悩みに応える開発は受注に直結します。また、試作などを同じ敷地内でできるのでスムーズに製品化でき、お客様との信頼関係構築にもつながっています。

一方で、現在のものづくりはスピード感が増しています。そのスピードに対応していくには、情報の共有化やオープンイノベーションによる知見の有機的な結合が必要です。そこで、R&Dセンターでは「共創」を重視していく方針を2018年度に打ち出しました。お客様や先端研究機関、製造所、営業部門との間で、またR&Dセンターの研究員同士でそれぞれ連携を強めていくことで、新たな技術や製品をスピーディに生み出していきます。

2018年度は、社外との共創の場として、お客様向けの体験型展示スペース「U-AI Lab.」と、日本最大級の公的研究機関である産総研^{※1}との連携研究ラボ^{※2}を新設しました。また社内では、当社初となる海外の研究開発拠点を開設してグローバルでの共創を目指すほか、R&Dセンターの執務スペースを個室からオープンフロアに変えて研究員同士のコミュニケーションを活性化しています。

今後もさまざまな共創を通じて知見と実行力を高め、“信頼されるR&Dセンター”として成長していきます。持ち込まれたニーズや課題を解決していくことは、新たな技術や製品の開発はもちろんのこと、中期経営計画とともにありたい姿として掲げている「アルミニウムの可能性を最大限に発揮し、社会と環境に貢献する企業」の実現につながります。信頼と期待に応え、さらにお客様・社会の潜在的な需要を引き出す研究開発を通じて、自社の成長と社会のより良い発展に貢献していきます。

※1 国立研究開発法人産業技術総合研究所

※2 より特化した研究開発をするために産総研内に設置された、UACJとの共同研究開発ラボ

R&Dセンターの特長

■ お客様との連携姿勢

お客様の製品開発におけるニーズに応えることはもちろん、お客様の製造環境を再現して、製造段階における課題解決にも貢献し、お客様のものづくりの全体最適化を支援しています。

■ 製造所併設

製造時のトラブルが生じた際に、プロセス研究に取り組む研究員が駆けつけることで早期に復旧することができ、納期遅れや歩留まり低下の回避に貢献しています。

■ 技術・知見の蓄積

100年を超すアルミニウム事業の展開のなかで培われた技術、研究成果が、次なる素材や製造技術の開発に活かされています。

取締役兼専務執行役員
R&Dセンター長
渋江 和久



R&Dセンターが始めた3つの共創

お客様との共創へ 体験型展示スペース「U-AI Lab.」を新設

2019年2月、お客様に当社の技術を見て、体験していただくための体験型展示施設「U-AI Lab.」を名古屋のR&Dセンター内に設けました。UACJの5つのコア技術について、実用化していない技術や製品を含めて知っていただき、お客様が持つ技術との融合を図っていきます。大学関係者やサプライヤーにもご来場いただき、多くの知見を結集することで技術や製品の開発スピードを高めていきます。



国家研究機関との共創へ 産総研と先端技術の連携研究ラボを設立

アルミニウムの先端技術開発を進めていく拠点として、産総研と連携研究ラボを2018年6月に設立しました。日本最大級の公的研究機関である産総研は、幅広い技術シーズを有しています。その技術を、当社が追求し得る研究テーマと適合させ、革新的なアルミニウム材料・プロセス

技術の実現を目指します。環境負荷の高さが課題となっている製錬プロセスの研究や、AI・IoTを活かした生産プロセスの構築を通じて、アルミニウム産業の発展に貢献していきます。

海外製造所との共創へ 米国・タイに研究開発拠点を開設

当社初の海外研究開発拠点を、2018年4月に米国、同年10月にタイにそれぞれ開設しました。タイではUATH^{※3}の生産性向上を支援するとともに、現地ニーズに即した製品開発をしていきます。また米国では、成長分野である自動車材の技術的なサポートを担うとともに、最先端技術やニーズの調査を進めます。共に成長市場であるタイと米国で、製造所と連携しながら事業拡大を図っていきます。

※3 UACJ (Thailand) Co., Ltd.

